

経済産業省と日本健康会議が優良な健康経営を実践する法人を顕彰 「健康経営優良法人 2018～ホワイト 500～」に選定

株式会社アシックス（本社：神戸市、代表取締役会長兼社長 CEO：尾山基、以下「アシックス」）は、このたび、経済産業省と日本健康会議が優良な健康経営を実践している法人を顕彰する『健康経営優良法人 2018～ホワイト 500～』に選定されました。

本制度は、地域の健康課題に即した取り組みや、日本健康会議が進める健康増進の取り組みの中で、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰するもので、昨年度から運用が開始されています。今回アシックスは、規模の大きい企業や医療法人を対象とした大規模法人部門において、「健康経営優良法人 2018～ホワイト 500～」の認定を取得しました。



アシックスは、お客さまにスポーツ文化や健康的な生活につながる商品・サービスを提供する企業として、従業員の健康を最も大切な要素と位置付けています。個人とともに企業が成長できる企業文化の醸成のため、従業員のより健康的な生活の実現を目指し"健康経営"に取り組んでいます。

○主な健康経営の取り組み

1. 定期健診および二次検診受診率ともにほぼ 100%を達成しているほか、リスクレベルにかかわらず、保健師による全社員面談を毎年実施し、個人のリスクおよび改善方法に関する指導を継続しています。
2. 働き方改革を通じて時間を生み出すとともに、社内アトリウム（体育館）やシャワー設備など、社員が運動に取り組みやすい環境を整備することで、スポーツを通じた心身の健康増進に取り組んでいます。また、社員食堂の管理栄養士と連携し、「アスリート飯」をコンセプトにした低カロリーかつ高栄養なメニューを定期的に提供するなど、社員の食習慣改善にも取り組んでいます。

3. 従来の健康施策を組織一体の活動として体系化すべく、新たに CEO をトップとする「ASICS Well-being Committee」を立ち上げ、企業価値向上を目指した健康経営のさらなる強化に取り組んでいます。



アトリウムでのスポーツの様子

アシックスの健康経営について

<http://corp.asics.com/jp/csr/wellbeing>

当社は今後も「健全な身体に健全な精神があれかし」という創業哲学を体現すべく、健康経営を通じて、従業員およびその家族の“Well-being（身体的・精神的・社会的に良好である状態）”を目指すとともに、企業の競争力向上に取り組んでいきます。

<ご参考>

アシックスは、このたび、株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：柳正憲、以下「DBJ」）が認定する「DBJ 健康経営（ヘルスマネジメント）格付」にて、総合スポーツ用品メーカーで初めて「従業員の健康配慮への取り組みが特に優れている」という最高ランクの格付を取得しました。

DBJ 配信プレスリリース

http://www.dbj.jp/ja/topics/dbj_news/2017/html/0000029598.html